学校関係者評価

※ 評価皿の基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい 2:取り組んでいるが成果が十分でない 3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる 1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等	評価皿
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む	
・参観授業などでも、教師と生徒が一緒になって授業に向き合い・取り組んでいる様子がよくわかる。 ・各種調査アンケートを見ると、先生方への信頼感がうかがえる。 ・帯学習など授業以外においても個々の生徒の状況に応じた学習支援や工夫が見られる。 ・実技教科等は行事と関連させながら生徒の意欲の向上と優れた表現や作品の制作に取り組んでいる。 ・タブレット活用の推進。タブレットを活用しての学習意欲の育成を望む。 ・保護者との協力により、家庭学習の定着を図ってもらいたい。	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	
・SCやSSW等の専門家や関係機関等との連携を通じて、生徒理解を丁寧に行い、いじめや家庭問題、問題行動等の未然防止や早期対応を行っている。 ・日ごろから廊下や教室等で生徒の見守り、声掛け、教育相談等を通じて生徒理解を進め、適時・適切な心の教育を推進している。中学生の間にしっかりと身に付けておかなければならない、挨拶や道徳の充実を引き続きお願いしたい。 ・生徒自身が「自分を褒めよう」を合言葉に、自尊感情を高めさせ、自己実現の意識の高揚を図っている。 ・SCの専門的視点から、自己理解や他者理解を進め、人権感覚や多様性を認める心の育成を図っている。	3
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	
 学校だよりや学年だより、各種だより、ホームページ等で積極的な情報発信を行っている。 地域行事等に生徒が積極的に参加することを通して、シチズンシップの醸成に取り組んでいる。 安全教育や防災教育を通じて、地域や関係機関等との連携を深めている。 コミュニティスクールの推進が少しずつ行われている。 関係機関や地域等との連携を進め、学校だけでは解決しにくい課題解消に取り組んでいる。 生徒自らの力で、ルールづくりを進めている。 	3
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	
 ・地域や関係者、生徒が連携した実践的防災訓練を通して、自助・共助についての学びを深めるとともに、役割の確認を行っている。 ・老朽化した施設や故障部分等については、速やかな対応が図られている。今後も予算の範囲内ではあるが、老朽化した部分については、生徒の安全確保のためにも速やかな対応を願いたい。 ・生徒及び教職員とも、常に危機意識を持ち準備等を怠らないようにしてほしい。 ・まずは、家庭での生活状態が充実していたいです。防災訓練に保護者の見学や参加を検討していただきたい。 	3
■教育目標	
 教育目標を明確にし、家庭や地域等により一層情報発信してほしい。 ・目標の達成状況を可能であればもう少し頻繁に情報発信してもいいのではないか。 ・保護者アンケート等をより積極的に実施し、活用してほしい。 ・生徒の人権を尊重した個に応じた支援や対応、言葉かけ、言葉使いを徹底してほしい。 ・生徒アンケート結果から、授業でわからない時に、先生に尋ねることができるような雰囲気作りをお願いします。 ・社会の多様な変化を受け、他人を大切に出来る生徒の育成をお願いしたい。 	3
■研究テーマ	
・教職員の業務改善も踏まえ、積極的な研究・研修が行えている。 ・今後も生徒を常に意識した、研究・研修に取り組んで欲しい。 ・生徒、学校、家庭がうまく連携するよう頑張ってください。 ・学校では困難な対応については、積極的に関係機関とも連携し、課題等の未然防止早期解消に繋げてほしい。 ・多様な家庭や生徒等に柔軟かつ多面的に対応してほしい。	3
評 価 項 目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	В
自己評価の結果の内容は適切か	В
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	В